

経営比較分析表（令和元年度決算）

新潟県 新潟東港地域水道用水供給企業団

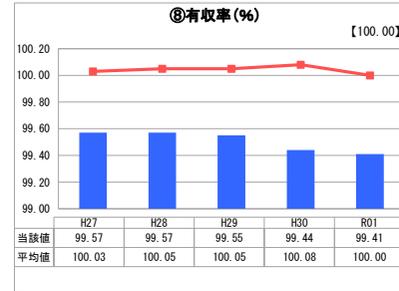
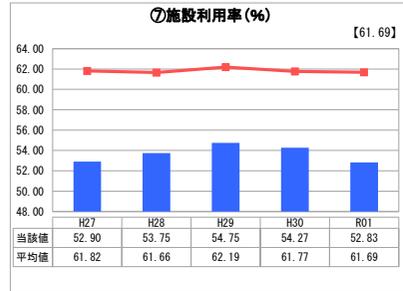
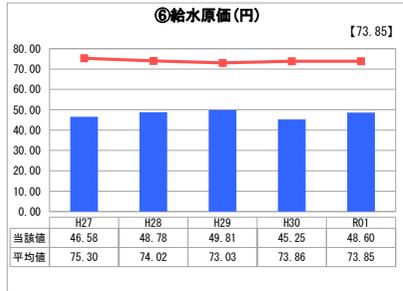
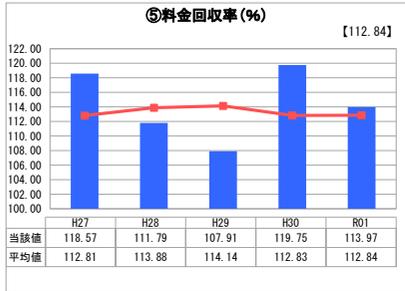
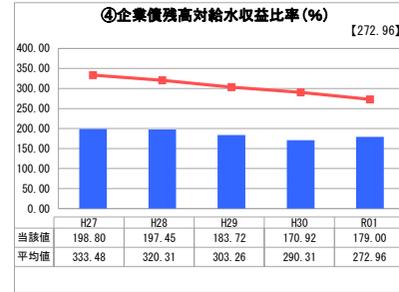
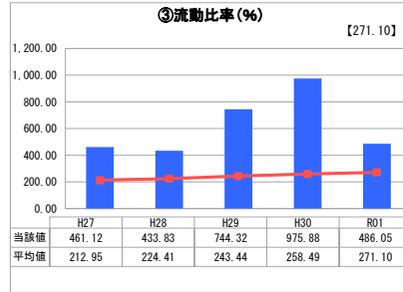
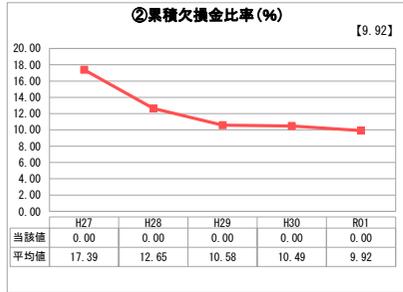
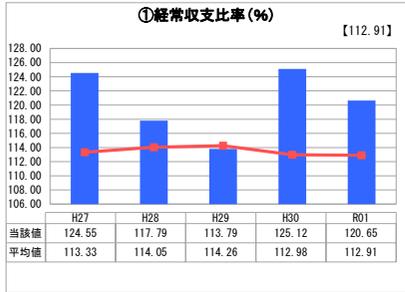
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	79.37	99.53	0	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
888,302	960.47	924.86

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

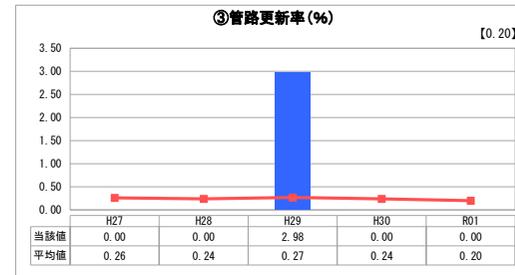
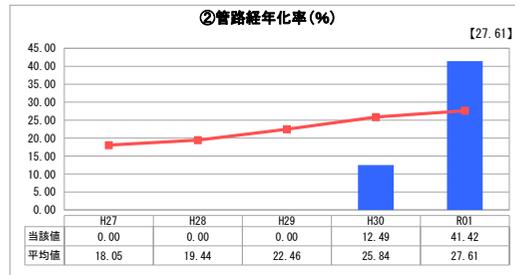
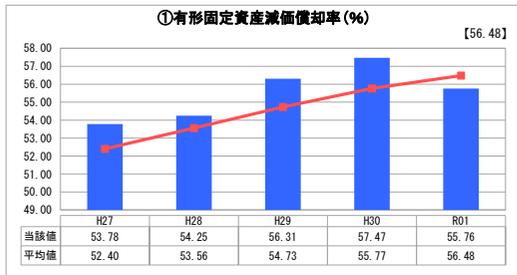
1. 経営の健全性・効率性について

当企業団では新潟東港地域水道ビジョン及びマスタープランを定め、業務改善の推進、財政基盤の健全化、定員の適正化、起債抑制、人材育成技術の継承に取り組んでいる。その成果は③や④の表のように現れ、当企業団の経営については、類似団体の平均と比べると健全かつ効率的に運営されており、今後も維持向上に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産は、償却率の割合から折り返しの頃と推定される。管路経年率は、昭和50年代中頃に敷設した管が大半なため、一気に経年管が進むことになる。令和5年度以降に計画的な更新を行う予定としている。

2. 老朽化の状況



全体総括

清浄な水を安定的に供給し続ける当企業団の使命を果たすため、健全性・効率性の維持向上に努めるとともに、老朽施設の更新等、適正な施設の更新・改良・維持管理や、災害に強い水道を目指して基幹施設の耐震化を進めていく。現行のマスタープランは令和2年度が最終年度となるが、次期マスタープランへ効果的に繋がられるよう邁進していきたい。